いちょう

山形市立第四小学校 校 長 日髙 伸哉

<児童数 205名>

FAX 633-9321

〒990-0055 山形市相生町4番37号 TEL 623-6019

感動!「6年生感謝の会」3/2(火)

~まさに、いちょうの子「児童会・心と心の卒業式」! …スクールサミットでの思いと願いが実現~

今日は、二十四節気の「啓蟄」。「冬ごもりしていた虫たちも、春を感じ動き始める」そんな頃とされています。校庭の木々も若芽が膨らみ始めています。大いちょうも、少しずつ芽吹き、春の訪れを感じさせてくれています。春は、別れと出会いの季節です。

18日の「卒業証書授与式」を前に、2日(火)「6年生感謝の会」が行われました。全校生

による「児童会・心と心の卒業式」と呼びたい、そういう感動の「感謝の会」になりました。 卒業証書授与式の本質は、読んで字の如く「卒業証書を授与すること」です。学校教育法施 行規則 58 条に、「小学校の全課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与しなければならない」という規定があります。同様の文言が、中学校、高校、大学と、いずれの学校段階にも定められています。これは、制度(大人側からの仕組み)としての見方です。一方で、子どもの側に立ったとき、卒業式は「卒業生と在校生の心の交流の完結の場」としての機能も持ち合わせてきました。コロナ禍において「新しい生活様式」を取り入れ、三密を回避することが日常となる今、でき得る最大限の工夫と取組が求められています。そういう意味では、この度の「感謝の会(児童会・心と心の卒業式)」は、スクールサミットを通して、いちょうの子ども

コロナ禍において、卒業式への在校生の出席が叶わないと分かったとき、できるだけ、卒業 式に近い日取りで「感謝の会」が催せるよう、2月下旬の予定を3月上旬に組み替えました。 そういう「本気」の気構えが、一人ひとりの「本気」につながり、感動を呼んだに違いありま せん。その一端を、各学年の「おたより」の中に見つけました。裏面に、掲載します。

達が深く考えたこと・思ったこと、そして願ったことが具現化されたものです。





















1年生が教室 来てくれて ました。 教えてく d110 班の1 6年間、 746

あおそらず「自分をこれで歌うはすであった」とてもい い合唱でした!!5年生 ありがとうございました。





山形市立第四小子 第2学年おたより NO. 令和3年 3月

5年生が企画、運営してくれ



感謝の会」が行われました。 今年度も、卒業式には在校生が参加できない。 今年度も、卒業式には在校生が参加できない。 い見通しです。そのため、5年生は、 た「6年生 シスカーン・シューン・システィーン・システ 備を進めていました。2年生も、呼びかけ エールなど、声を発して直接 感謝を示せる最後にして最大の場であるこ マスク越し や歌、手紙、 ではありますが、歌も呼びかけも、目の前 2年生の担当は、クルーズ班 がんし渡りしている。 微閉の云の即の时间は、凹て言うて ドキドキしながら6年生のところに歩み寄り、照れながら

に6年生がいたことで、数室の練習のときよりも心に大ソときました。2年生の担当は、クルース地の6年生に、班のみんなからの手紙を一言添えて渡すことです。感謝の会の前の時間は、照れながらの6年生に、班のみんなからの手紙を一言添えて渡すことです。では、近のようかである時間をといました。ドキドキしながら6年生のところに歩み寄り、照れながら もにこやかに手渡していました。少し密にはなりましたが、やっはりこういうかかわりの姿かいいな あと実感しました。6年生からも、在校生に向けて、卒業式で歌う予定だった合唱と各学年に向けて の四75かけがありました。6年生は、1年生と行動を母にする9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母にする9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母にする9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母にする9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母にする9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母による9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母になる9年年の姿を称えてくれました。6年年は、1年生と行動を母による9年年の姿を称えてくれません。 の呼びかけがありました。6年生は、1年生と行動を共にする2年生の姿を称えてくれました。背筋を呼びかけがありました。6年生は、1年生と行動を共にする2年生の姿を称えてくれました。 166年生のでしょう。「66年生のでしょう。「66年生からの感謝の会」でもあり、「6年生からからない。」 渡そうか改めて考える時間をとりました。 /とし、食い入るように合唱を見つめて聞いていた2年生。何かを感じとつていたのでしょう。16 感謝の会」ですが、「6年生への感謝の会」でもあり、「6年生からの感謝の会」でもありまし の呼びかけがありました。6年生は、

10)感謝が窘さ后つなんとも温かな云になりました。
昨日はCD録音当日でした。6年生にではなく、ふとしたときにCDを聴くであろう未来
昨日はCD録音当日でした。6年生にではなく、仮日さん一花さんの世奏は ノーミョルを寄せて 撃走の由 今できる100%で頭いました 枚日さん 3分に思いを寄せて、緊張の中、今できる100%で歌いました。悠月さん一花さんの伴奏はノーミルの出版において、緊張の中、今できる100%で歌いました。悠月さん一花さんの伴奏はノーミルでは、そして、いつも伴奏をして下さる金山先生に、緊張に打ち勝つだけの練習を重ねだ成果でしすね。そして、いっちは、今日の歌のできばえば、4年後の3日のお遊しみです。今日の歌のできばえば、4年後の3日のお遊しみです。 年生 微潮の云」とすが、10年生への恋さい云」とつのが、 た。お互いの感謝が響き合うなんとも温かな会になりました。 た。アナロサクロラギルロで、た。6年生にアけた人

人。繁張し打り勝つにけり練音を里ねに成果でしまね。そして、い も感謝です。今回の歌のできばえは、4年後の3月のお楽しみです。

粋

学

年

お

た

ょ

IJ

か

ら

抜